

## 超音波診断装置 EPIQ Elite／Affiniti シリーズに最新世代「Elevate Plus」誕生

“より心地よく、より上質に”

検査効率と診断支援の向上を支える新たな先進機能を搭載



株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：安部 美佐子、以下フィリップス）は、超音波画像診断装置 EPIQ Elite／Affiniti シリーズ「Elevate Plus」を5月26日（火）より販売開始します。

超音波検査は、リアルタイム性や非侵襲性に優れ、臨床現場で広く活用されています。一方で、画像取得や評価は術者の技量に依存しやすく、客観性や再現性の確保が課題です。フィリップスでは、自動化技術や高度な画像処理技術を活用し、術者間のばらつき低減と安定した画質・診断支援を追求してきました。

このたび発売する EPIQ Elite／Affiniti シリーズ「Elevate Plus」は、従来の Elevate プラットフォームに、新たな自動化機能や画像処理技術など、検査効率と診断支援の向上を支える機能を強化した最新世代のハイエンドシステムです。操作画面のアクセントカラーもアンバー（琥珀色）からモダンなブルー

へ刷新し、フィリップスの超音波シリーズ全体におけるユーザーインターフェースの整合性を高めました。

「Elevate Plus」は、「より心地よく、より上質に」をコンセプトに、検査件数の増加や人手不足といった今日の課題に対応し、検査ストレスを軽減する快適な操作性と、一貫した高品質な画像提供を通じて、検査効率と診断支援のさらなる向上を支援します。

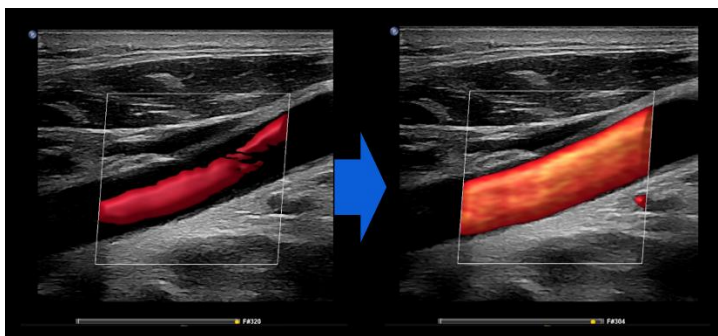
## Elevate Plus の主な製品特長

### 1. 「xRes Pro+」によるイメージクオリティ (IQ) 向上

高解像度の組織描出を支援する xRes Pro+ (エックスレスプロプラス) は、高度なポストプロセッシング技術により、組織形状に応じた精密な形状適応型の画像処理を可能にします。構造境界の明瞭化とシャープネスの向上により、特に乳腺・甲状腺・筋骨格領域において、境界の視認性向上に寄与し、微細な解剖学的変化の検出に貢献します。さらに、患者の体形や描出深度に応じて撮像パラメータをダイナミックに最適化し、浅部から深部まで均一で自然なテクスチャ表現を実現します。これにより、安定した高画質の取得を支援します。

### 2. 鮮明な静止画保存を支援する自動化機能「Auto Cine」

画面のフリーズ時には意図しないフレームで静止することがあり、その場合、術者が手動でシネループを巻き戻し、最適なフレームを選択し直す必要がありました。Auto Cine は、2D およびカラードプラのフリーズ時に直前のシネループのなかから鮮明な画像を自動選択して静止することで、このプロセスを効率化します。2D ではブレの少ない鮮明なフレームを、カラードプラでは血流信号の充填度や強度を解析して血管にカラーが十分満たされたフレームを選択します。これにより術者の検査ストレスを低減するとともに、安定した高品質画像の保存と診断の信頼性向上に貢献します。



Auto Cine により、フリーズした瞬間のフレーム (左画像: フレーム #320) から、血流信号が十分満たされたフレーム (右画像: フレーム #304) へ自動でフレームバックして停止する。

### 3. 造影超音波 (CEUS) の次世代解析「Super Resolution Micro Vascular Imaging (MVI) Pro」

蛍光顕微鏡の超解像処理技術を応用した CEUS の高解像度積算処理技術 Super Res MVI の機能がさらに拡張され、Super Resolution MVI Pro へと進化しました。造影剤の到達時期を示す Time of Arrival (TOA) に加え、病変および実質内で造影剤が最大濃度に達するタイミングを示す Time to Peak (TTP) パラメトリックマップを新たに搭載。TOA と TTP を組み合わせることで、病変タイプのよりの確かな評価の支援を目指します。さらに新しく定量解析も可能となり、任意に設定した ROI に対して到達時間やピーク時間、平均値、標準偏差、ピクセル数、フレーム番号などの詳細な指標を提供し、腫瘍タイプのアセスメントを支援します。



販売名：超音波画像診断装置 EPIQ/Affiniti  
医療機器認証番号：225ADBZX00148000  
特定保守管理医療機器/管理医療機器

## フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として1953年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。

日本の従業員数は約2,000人、約70拠点でビジネスを展開しています。 (<https://www.philips.co.jp>)

## ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス (NYSE:PHG, AEX:PHI) は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。

フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。

オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの2025年の売上高は180億ユーロ、全世界に約64,800人の従業員を擁し、世界100か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

(<http://www.philips.com/newscenter/>)



医療機器および企業に関するお問い合わせ  
株式会社フィリップス・ジャパン  
コミュニケーション担当  
[press@philips.com](mailto:press@philips.com)